

1. 素核研安全グループ 2017年度の主要な活動

《安全意識の向上・浸透》および《安全で快適な実験室環境の整備・構築》を目指して日々活動しております。2017年度の主要な活動は以下の通りです。

(1) 低圧電気取扱業務特別教育開催

2017年7月、KEKつくばキャンパスとしては初めて、低圧電気取扱業務特別教育を開催し、素核研より22名の方が受講しました。本教育は労働安全衛生規則に基づき、職員・共同利用者をはじめ、電気取扱業務に関わる人々を電気災害から守ることを目的に実施したものです。内容は低圧電気、電気設備等に関する基礎と、「低圧の活線作業及び活線近接作業」の実技など計8時間の構成です。特別教育は電気を安全の観点から学ぶ内容であり、電気災害予防に役立つ機会を提供できたと思います。今後も継続して実施する計画です。



学科講習の開催風景



実技講習の開催風景

(2) 床上配線の天井配線化

素核研では2014～2015年にかけて、実験に携わる職員全員による実験室の安全パトロールを計3回実施しました。その中の主要な指摘事項の一つが、乱雑な床上配線です。コンセントは一般的に壁面に設置されているため、離れた場所への電気供給は、殆どの実験室で床上にコードを這わせる方法が取られています。通路を横切るコードは「配線カバー」等で保護しますが、通行や物品運搬に多少の支障があります。近年は配線カバーが劣化し、線がむき出し状態になっている箇所も多く見受けられるようになりました。床上配線は通行の支障になるだけでなく、什器等による断線等の電気事故が心配されます。

この現状の問題を改善するため、安全グループでは2015年より、床上配線の「天井配線化」

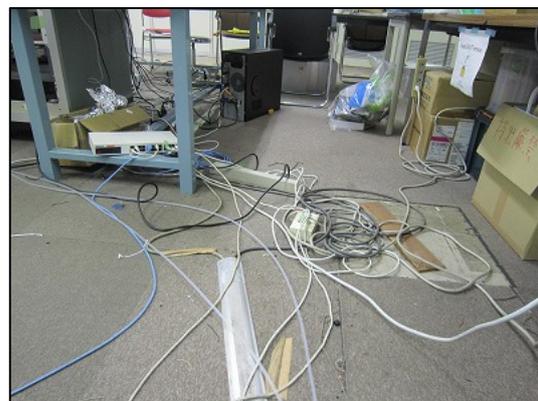
を順次実施してきました。通路を横切るコードをなくすことで、断線を心配する必要がなくなり、電気事故のリスクを低減した他、台車の通行も容易にし、業務の円滑化にもつながっています。他の未改善箇所についても、順次天井配線化を進める計画です。

今年度末頃には富士実験棟 B3 計算機制御室の天井配線化工事を実施する予定です。

筑波実験棟1F 安全監視員室の天井配線施工例



富士 B3 計算機制御室の乱雑な床上配線の状況 → 近々改善予定



(3) 北カウンターホールのクレーンワイヤー交換

北カウンターホールのクレーンは 1989 年に稼働開始し、2005 年の PS 実験終了後も、電磁石や測定器等の開発、テストに関わる作業に使われてきました。クレーン設置以来、約 25 年経過した 2013 年と 2015 年の 2 回にわたり、公的機関による性能検査で「ワイヤーの老朽化」を指摘されていました。そこで、クレーン作業の安全性確保のため、2017 年 7 月 18 日に、「ワイヤー交換」を実施しました。

ワイヤー交換は真夏の過酷な作業で、新ワイヤーの調整に若干、時間を要しましたが無事完了しました。ワイヤー交換により機械的な安全性はもちろん、利用者の安心感という「精神

的な安全性」も増したと思います。



北カウンターホールのワイヤー交換作業

(4) 体感型安全教育の実施

2016年の機構つくばキャンパス全体での実施に引き続き、2017年7月11日午後、素核研職員を対象に体感型安全教育を、筑西市の日立化成テクノにおいて実施しました。素核研7名+安全衛生推進室1名が参加し、全員《高所危険》、《回転体危険》、《電気危険》等の有意義な体験をしました。

実験だけでなく日常生活にも役に立つ体験とのご意見も頂きました。素核研内で希望者がいれば、来年度も同教育を実施することが可能です。2018年度の講習への積極的な参加をお願いします。



安全帯ぶら下がり体験

2. 今年度の活動予定

2018年度は引き続き、以下のような活動をしてまいりますので、皆様の益々のご理解とご協力をお願い致します。安全管理上、何か相談事があれば安全グループに声を掛けて下さい。微力ながら、可能な限りお手伝いさせていただきます。

- (1) 体感型安全教育の実施
- (2) 整理・整頓活動の推進
- (3) 安全講習会の開催(テーマ選定中)
- (4) 安全グループHPを通した各種安全関連情報の発信
 - 各種安全巡視結果の発信、安全管理体制等の掲載、ヒヤリハット等の水平展開
etc.